

学校教育目標	「夢」「愛」「平和」				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢に向かって、自ら学び創造性を養い、明るい未来を切り開く力を身に付けます</li> <li>・愛をはぐくみ、お互いを尊重し認め合い、人と人とのつながりを大切にすることを育てます</li> <li>・平和を希求し、健やかな心と体で自分の可能性を信じ、豊かな社会の実現を目指します</li> </ul>				
学校概要	創立 43 周年	学校長 高山 俊哉	副校長 蛭田 美咲	2 学期制	一般学級: 24 個別支援学級: 3
	児童生徒数:	894 人	主な関係校: 茅ヶ崎小・茅ヶ崎東小・茅ヶ崎台小		

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	〇〇中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習し伝え合いながら学びを深める力 (コミュニケーション力)</li> <li>・協働的に解決策を見出し実行する力 (問題発見・解決能力)</li> <li>・地域と自ら進んでかかわり共に支えあう力 (社会生活との関わり)</li> </ul>	茅ヶ崎小学校 茅ヶ崎東小学校 茅ヶ崎台小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習し、伝え合いながら学びを深める子ども(コミュニケーション力)</li> <li>・協働的に解決策を見出し、実行する子ども (問題発見・解決能力)</li> <li>・地域と自らかかわり、支えあう子供 (社会生活との関わり)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究テーマ「魅力ある茅ヶ崎中学校区を目指して」</li> <li>～育成を目指す資質・能力の視点での小中教科指導の工夫～</li> <li>・年2回の授業参観・研究協議会の設定</li> <li>・年1回の職員交流会(R4年度は見送り)</li> <li>・年2回(合唱交流・部活動見学会)での児童生徒同士の相互理解</li> <li>・年5回のコアメンバーによる推進協議会</li> </ul>

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業力向上と適切な評価の研究・・・指導と評価の一体化を意識し、授業改善に努めるとともに、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるような指導法を研究し、生徒一人ひとりが目標を明確に設定できる評価を行います。</li> <li>・特別支援教育の充実・・・特別支援教室の運営の仕方や学習指導の方法を全職員で研究・実践し、一層の充実に努めます。</li> <li>・体力向上への取組と部活動の適切なありかた・・・体育の学習活動や部活動を通じ、体力を向上させ怪我や疾病の予防に努めます。目標を持たせ礼儀正しくさわやかな態度を身につけ、前向きに他と協働して生きる態度を育成します。</li> </ul>
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①教員相互の授業研究のさらなる充実。教科主任会を中心として主体的、対話的で深い学びの実現に向けての研修機会の充実。 ②評価やICTの活用、主体的・対話的な授業展開の工夫について外部講師を招いてさらに研究を深める。
担当	学習指導部	
徳	道徳教育	①学校教育目標の改訂に合わせ、積み上げてきた道徳教材の見直しを行い、学校行事や育てたい子ども像との関連を図る。 ②人権教育推進校の研究成果をさらに発展させ、生徒の体験に則した道徳教育を道徳の時間のみならず教育活動全般で実現する。
担当	道徳・人権担当	
体	健康教育	①保健体育の時間や学校保健委員会、生徒の委員会活動を通して、健康・保健の意識の向上を図るとともに講演会を企画し情報提供を行う。 ②ガイドラインに基づいた適切な部活動を行うとともに、科学的・効果的なトレーニング方法を教職員が学ぶ機会を確保する。
担当	保険体育科・保健指導部	
公開	地域連携	①ふれあい祭を中心とした地域連携の再構築を行う。その中で生徒の積極的な地域への貢献の意識を養う。 ②各町内会や外部団体からのボランティア案内を福祉委員会を通して広報し、同時に校内でもPTAと協働したボランティア活動を実現する。
担当	特活指導部	
いじめへの対応		①アンケートをはじめできるだけ多くの相談活動を通していじめの早期発見に努め、初期対応を徹底し早期の段階での組織的な指導を行う。 ②対策委員会のみならず、週一回の生徒指導連絡会、特別支援連絡会、各主任の情報交換会などを通じ情報を共有する。
担当	生徒指導部	
人材育成・組織運営(働き方)		①企画会(リーダー会)や教育課程推進委員会(プロジェクトチーム)を中心に、エビデンスに基づいた主体的な働き方改革を行う ②公務分掌の中で業務や会議のあり方を見直す。学校教育目標の改訂に伴う見直しの中で、教育活動の精選を行っていく。
担当	企画会・教育課程推進委員会	
特別支援教育		①特別支援教育非常勤を効果的に活用し、特支級担任としての役割をにない、生徒がより安心して登校できる環境を整える。 ②ICTを活用した不登校支援をより充実させ、学級への登校を実現するツールとしての活用をより推進する。
担当	特別支援教育委員会	
生徒指導		①複数回のY-Pアセスメントを活用し、生徒理解を深め、密な情報共有を行い適切な生徒理解・指導に務める。小学校とのデータの連結も推進する。 ②教職員の生徒指導・相談活動のスキルアップを図るために、傾聴訓練を実施し、実際の生徒指導の技法を学ぶ。
担当	生徒指導部	
自分づくり教育		①地域学校協働本部と連携し、地域人材を多く活用して、面接練習など学校外の人々と接する機会を増やす。 ②職業体験に当たっては外部のNPOへの依頼などを行い本格的な体験のできる職場の開拓に努める。
担当	進路・総合担当	
		b10
担当		